

平成26年カスケード及び周辺の管理について

井上瞳・佐々木修・内田喜章・島田有紀子

はじめに

カスケードには、現在57個の大型コンテナ、13箇所の花壇（内、7箇所は自主花壇、6箇所は委託花壇）、1個の立体花壇（フラワーボール）、300～400個の角型・丸型プランター、ハンギングバスケットを使用し、季節の草花等を常時展示装飾している。家庭等での装飾の参考になることを想定しているため使用する草花は、来園者が容易に購入することの可能な品種を用いている。コンテナ類は昨年と同様、寄せ植えを行わず単一品種で揃え、できる限り場所を固めて展示することでボリュームを出す展示を心がけた。

直営で管理した花壇、コンテナ

カスケード周辺のコテナ及び周辺花壇に植え付けた植物は表1～5のとおりである。

花木や宿根草は、昨年植栽し開花後掘り上げてバックヤードで栽培したものを用い、大型コンテナや花壇に植栽した（表1）。

プランターで栽培した草花は、季節に合わせて展示を行った（表2）。

ハイビスカスは初夏にアブラムシが発生したため、薬剤散布等により定期的に防除した。コスモスは生育初期には肥料を控えて栽培したが、展示開始直後からうどんこ病が発生したため、定期的にダコニール1000などを散布して防除した。春からプランターで展示していたベゴニア・センパフローレンス‘ビッグ’は、草丈が高く花径が大きいため、遠くからでもよく目立つのか、来園者の興味を引いていた。徒長のため8月末にバックヤードへ引き上げて切り戻して管理を続けたところ、約半数は10月中旬に再び展示できるまで回復した。夜間開園用に栽培したオシロイバナは、春に球根を植え替えたものを用いたが、徒長が目立ち、夏には間延びした株になった。

ハンギングバスケットは昨年に引き続いて、植物友の会管理ボランティアの協力を得て、初夏と秋の2回制作を行った（表3）。制作したハンギングバスケットは、2週間の養生管理の後に

カスケード及び正面ゲートへ展示した。インパチェンスは、夏に株が徒長して株姿が乱れたため切り戻しを行った。一方、コリウスは、夏に一部の品種で根腐れや葉焼けを起こしたものが出たものの、おおむね初秋まで展示できた。フラワーボールは、4月下旬にパンジーからベゴニア・センパフローレンスへ切り替えて展示した（表3）。夏越ししたベゴニア・センパフローレンスは傷みがひどくなるため、昨年度から秋のグリーンフェア（10月上旬）直前に植え替え、バックヤードにて養生していたものと入れ替えた。

自主花壇（表4）は、春から初夏にはカンナを主とした植栽に切り替えた。かん水の頻度が少なくなり、かわりの時間を花がら摘み等の管理作業に充てることで作業効率を改善することができた。

委託花壇

本年度から、良品質の花壇苗を植栽することを目的に、委託花壇の苗を直接生産者に発注して入手し、植え付け以降の作業を年間委託の業者による管理とした（表5）。

ベゴニア・センパフローレンス‘ビッグ’は、矮性の普及タイプとは異なり、大柄な草姿になり、病害虫にもきわめて強いのが特徴であり、初めて当園の中花壇の植栽に利用した。大花壇に植栽した普及タイプと同じ4月下旬に植え付けたところ、普及タイプは梅雨時期の長雨で灰色かび病が多発し、株が見苦しくなったのに対し、‘ビッグ’は病気が全く出ずに、生育旺盛で美しいパフォーマンスを呈した。普及タイプと比べて一般には見慣れていないことから、来園者からも好評であった。ところが、16株/m²で植栽したにもかかわらず、1か月後には株間が見えないほどに大きく茂り、加えて7月下旬の大雨と風により、株が横倒しになった（写真1）。本来であれば真夏も旺盛に生育して夏越しし、切り戻しをしなくても11月下旬まで観賞できる品種である。切り戻した場合、約1か月後には再び開花に至るが、そうすると花が無くなる期間が生じるため、花壇としては不適切であると判断し、予定より早い8月に抜き取ることになった。このような大柄になる花卉は、沈床花壇ではなくボーダーに向くため、場所の見直しが必要なのかもしれない。

各所で窒素過多とみられる症状が現れた。春に植栽したマリーゴールドや夏のゴシキトウガラシは花が側枝の下で咲いて目立たなかったほか、ジニア・プロフェュージョンは夏の長雨の影響も加わり植え付け早々に株が倒れた。一方で、コンテナに市販の草花培養土で植え付けた場合にはこのような症状は見られず通常の生育を示した。今後、花壇の肥料の配合を見直す必要がある。

夏の花壇には乾燥に強い品目を選んだが、本年度は例年と比べて雨の多い夏であったため、7月中旬に植え付けた花壇苗はほとんどが早期に見苦しくなった。その中で、トウガラシとペンタスは多雨の影響をあまり受けずに良好な生育を示した(写真2)。食堂前花壇に植え付けたキバナコスモスは、植付け直後にヨトウムシが発生し、100株弱が食害を受けた。被害を受けた株は抜き取り、ヨトウムシを捕殺した後にオルトラン粒剤を散布してから補植した。

9月中旬に植え付けたサルビア・スプレンドス・カラビニエールシリーズと、羽毛ケイトウ・センチュリーシリーズは良好なパフォーマンスを呈したが、10月下旬になるとサルビアでは花が老け、羽毛ケイトウでは株が倒れた。サルビアは9cmポットで植え付けたため、根が回って地に広がりやすく、老化が早まった可能性があり、10.5cmポットで育苗したほうが良かったのかもしれない。羽毛ケイトウは無摘心の苗で入手したが、基部分枝を促しておかないと逆三角形の草姿になって倒れやすくなるので、今後導入する場合には1~2回の摘心を生産者に指示することとしたい。

初夏から植えていたペンタスも含め、秋の花壇苗は10月下旬が観賞終了と思われ、冬苗の定植を早める必要があると考えられた。ハボタンは11月中旬以前では色戻りの心配があるが、パンジーおよびビオラであれば10月下旬の定植は十分可能である。ハボタンに移行する前の秋苗には、例えばジニア・プロフェュージョンを9月に植えることにより11月中旬まで観賞できるのではないかとと思われる。

これらの点を踏まえ、次年度の花壇苗を選定することとしたい。

台風の影響

平成26年は長雨だけでなく台風による被害もあった。特に10月13日の台風19号により、カスケード周辺の植物やコンテナが被害を受けた。

コンテナ、花壇では植物の芽折れ、倒伏があり、倒れたコンテナ(容器)の破損が多数見られた。吹き戻しの影響で大コンテナのコニファーが数本倒伏し、枝折れや根の切断などの被害を受けた。食堂前花壇のコスモスが多数倒伏したため、支柱を立てて補強した。



写真1 倒伏したベゴニア・センパフローレンス'ビッグ'
(平成26年7月31日)



写真2 旺盛に生育するペンタス(平成26年9月11日)

表5. 委託花壇での展示植物と展示期間

植物名	mあたり株数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下
大花壇 (147.6m)													
パンジー (中輪、橙)	25												
パンジー (中輪、黄)	25												
パンジー (中輪、青)	25												
ハボタン (丸葉、赤)	25												
ハボタン (丸葉、白)	25												
アイスランドポピー (混合)	25												
ペゴニア・センパフローレンス (赤)	25												
ペゴニア・センパフローレンス (桃)	25												
ペゴニア・センパフローレンス (白)	25												
ゴシキトウガラシ	25												
トウガラシ「ブラックパール」	25												
サルビア スプレンドゥス (赤)	25												
サルビア スプレンドゥス (白)	25												
中花壇 (60.0m)													
ハボタン (丸葉、赤)	25												
アイスランドポピー (混合)	25												
パンジー (中輪、橙)	25												
パンジー (中輪、黄)	25												
パンジー (中輪、青)	25												
ペゴニア・センパフローレンス「ビッド」(赤)	16												
ペゴニア・センパフローレンス「ビッド」(ピンク)	16												
ペゴニア・センパフローレンス「ビッド」(銅葉、赤)	16												
ペゴニア・センパフローレンス「ビッド」(銅葉、ピンク)	16												
センニチコウ「バディ」	20												
小花壇 (53.0m)													
パンジー (中輪、橙)	25												
パンジー (中輪、黄)	25												
パンジー (中輪、青)	25												
フレンチマリーゴールド (黄)	25												
フレンチマリーゴールド (濃オレンジ)	25												
ペンタス (桃)	25												
ペンタス (濃桃)	25												
カスケード前 (131.4m)													
パンジー (中輪、橙)	25												
パンジー (中輪、黄)	25												
パンジー (中輪、青)	25												
パンジー (中輪、ライトブルー)	25												
ハボタン (丸葉、赤)	25												
ハボタン (丸葉、白)	25												
アイスランドポピー (混合)	25												
ペゴニア・センパフローレンス (赤)	25												
ペゴニア・センパフローレンス (桃)	25												
ペゴニア・センパフローレンス (白)	25												
ジニア・プロフェュジョン (イエロー)	25												
ジニア・プロフェュジョン (チェリー)	25												
ジニア・プロフェュジョン (オレンジ)	25												
羽毛ケイトウ「センチュリー」(青葉、イエロー)	25												
羽毛ケイトウ「センチュリー」(青葉、スカレット)	25												
羽毛ケイトウ「センチュリー」(銅葉、オレンジ)	25												
カスケード池下 (43.6m)													
パンジー (中輪、橙)	25												
パンジー (中輪、黄)	25												
パンジー (中輪、混合)	25												
クリサンセマム「ノースポール」	25												
カンナ・トロピカルシリーズ (混合)	9												
トレニア (混合)	25												
センニチコウ「ローズネオン」	25												
スーパーチュニア「ピスタ」	25												
サルビア スプレンドゥス (赤)	25												
サルビア スプレンドゥス (桃)	25												
大温室構 (42.0m)													
パンジー (中輪、橙)	25												
パンジー (中輪、黄)	25												
パンジー (中輪、ピンク)	25												
パンジー (中輪、ローズ)	25												
パンジー (中輪、黄)	25												
パンジー (中輪、ライトブルー)	25												
パンジー (中輪、青)	25												
カンナ・トロピカルシリーズ (混合)	9												
さくさくサンパチエンス (白)	3												
さくさくサンパチエンス (ブラッシュピンク)	3												
さくさくサンパチエンス (ライラック)	3												
さくさくサンパチエンス (オレンジ)	3												
ダスティムラ	25												
イベン													
パンジー (中輪、黄)	25												
クリサンセマム「ノースポール」	25												
さくさくサンパチエンス (白)	3												
さくさくサンパチエンス (ブラッシュピンク)	3												
さくさくサンパチエンス (ライラック)	3												
さくさくサンパチエンス (オレンジ)	3												
花壇前 (160.0m)													
パンジー (中輪、黄)	25												
パンジー (中輪、青)	25												
パンジー (中輪、ライトブルー)	25												
パンジー (中輪、黄)	25												
キバナコスモス (高性種)	16												
コスモス (混合)	16												

■は展示期間